



平成 19 年 12 月 27 日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役管理本部長 川井 隆史
(Tel: 03-6744-2882)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 8 月 3 日に公表した平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の通期における業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期通期の業績予想の修正（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

（1）連結業績予想

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,062	△631	△669
今 回 修 正 予 想 (B)	772	△824	△1,285
増 減 額 (B - A)	△289	△193	△615
増 減 率 (%)	△27.3%	—	—

(単位：百万円)

（2）単体業績予想

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	224	△138	△299
今 回 修 正 予 想 (B)	204	△193	△604
増 減 額 (B - A)	△19	△55	△305
増 減 率 (%)	△8.6%	—	—

(単位：百万円)

2. 修正の理由

連結の業績につきましては、当社グループにて保有している投資有価証券及び子会社メディックファーマにて開発を進めております化合物（グルフォスファミド）について、将来におけるキャッシュフロー予測（これまでに投資した先行費用を回収するのに要する期間やその金額）の見直しを行い監査法人と協議した結果、当該投資有価証券及び化合物の減損処理を実施いたしました。また、PGx トータルソリューションサービスについても、当初の予定より、各プロジェクトの進行が遅れており、売上高、経常利益、当期純利益とも予想を下回る見通しとなりました。

単体の業績につきましても、1.（2）の通り、業績予想の修正を行いました。売上高・経常利益の修正の主な要因としては、グループ会社間取引によるものであります。また、当期純利益の修正につきましては、連結の業績同様、化合物の減損処理を行ったことによるものであります。

以上のことにより、平成19年8月3日発表の業績予想を大幅に下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正することといたしました。

3. 今後の対策

今後の経営につきましては、堅実性と透明性をこれまで以上に重視し、着実な事業展開により業績向上に努めてまいります。

4. 責任の明確化

今回の業績予想修正を真摯に受け止め、経営責任を明確化するため、下記のとおり決定いたしました。

代表取締役の報酬の返上

代表取締役橋本康弘は平成 20 年 1 月分より 3 月分までの 3 ヶ月間、役員報酬月額
の 100%を返上いたします。

業績予想の堅実性及び株主価値の向上に向けて、役職員一同、引き続き全力で努めてまいります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

※ 本資料に記載しております予想数値は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上